

2023年7月号



七夕に向けて短冊に願い事を書いて、笹に飾りました。  
短冊には、「家族みんなで仲良く暮らしたい」「大谷選手に会いたい」  
「若返りたい」など、さまざまな願い事が書かれていました。



昨年まで多かったコロナウイルスに関する願い事はみられませんでした。これは、コロナウイルス感染が幾分か落ち着き、ワクチン接種が進んだことで、これまでよりは、ご利用者が安心して日常生活が送れるようになってきているのだと改めて感じました。感染対策は引き続き行っていきます。ご協力の程よろしくお願ひいたします。



## あい寿の丘「すいか」

今年も渥美半島の農家さんからスイカの苗を職員が頂いたので施設へ持って来てくれました。

ご利用者と職員で毎日水やりをし、日中は鉢を外に出す当番をしています。ご利用者が「水やりは苗の周りにまんべんなく撒いてな」「もう少し水やった方が良いなあ」「肥えもやるといいんだがなあ」と毎日成長を楽しみにしてお世話をしています。



## あい寿の丘「うめ」

あい寿の丘の中庭にある梅の木に今年はたくさんの立派な梅がなりました。

たくさん実ったのでご利用者と見に行きました。ご利用者から「梅干しにしたらいいが」「梅ジュースにしたら美味しいよ」「梅酒が良いなあ」「私がやったろうか」など声がかかりました。



## 南知多町デイサービス「雨の日だって愉快だよ！」



雨が多い季節でも明るく過ごせるように、カラフルな壁面ができあがりしました。ご利用者は、青、ピンク、紫のお花紙で花を作り、中心に花の形に切った紙を貼り、アジサイを表現しました。細かい作業でしたが、一生懸命に取り組まれていました。

アジサイの葉の上には、雨を楽しんでいるようなカエルが空を見上げ、雨を降らしている雷様も笑顔で空から見下ろしています。雨上がりの空には、大きな虹がかかり、ご利用者は、「きれいだね」「かわいいね」とお話をされていました。



## みなみ苑「喫茶みなみ」

おやつ時間に喫茶を行い、「大砲巻」をご用意しました。ご利用者から「まあ、懐かしい」と言われ、「おいしい」と喜んで召し上がっていました。コーヒー・紅茶などお好きな飲み物を選んでいただきお砂糖たっぷり飲まれる方、お砂糖・ミルクなしで飲まれる方、それぞれに楽しいひと時を過ごしていただきました。



## みなみ苑「心太」



みなみ苑で心太を作ってみました。天草を煮ることから始めて、型に流し冷蔵庫で冷やして固めました。出来上がった心太をところてん突きで切り、「結構、力があるね」「切れた、切れた」と話しながら楽しそうにしてみました。三杯酢で



さっぱりと食べていただきました。「体にいいね」「大好き」「時期のものだからおいしい」と大変喜んでいただけました。

## そよかぜデイサービス「茄子の収穫」

そよかぜ農園の茄子が大きく育ち、収穫を行いました。包丁で切っていただき、昼食のお味噌汁に入れて食べることにしました。「採れたてでやわらかくておいしいね」と喜ばれていました。





## ひだまり「梅ジュース作り」

今年も梅ジュース作りに挑戦しました。瓶を熱湯消毒し梅を洗い1個ずつ丁寧に水気を取って、ヘタを竹串で取り除き氷砂糖と一緒に瓶の中に優しく入れます。その際、「美味しくなあれ」とこっそりと声かけをしました。

ご利用者からは、「昔は梅干しやホワイトリカーを入れた梅酒も作ったよ」と昔を懐かしむ声が聞かれました。完成した梅ジュースは、かき氷にかけたり、冷たい水で割ってさっぱりジュースにしていたらと思います。



## ひだまり「あじさい作り」



ひだまりの中庭にあじさいの木があるのですが、今年は花が咲きません。葉っぱだけ青々として素晴らしいのですが、そこで、みんなで話し合いあじさいの飾りを作ることになりました。お花紙をねじって花を作り台紙に貼って行きます。「貼るのはとても楽しいけどねじるのは難しい」と笑顔で言いながら楽しく作られていました。



## そよかぜデイサービス「父の日」

「父の日のプレゼントは何が欲しい？」と男性のご利用者にリクエストを聞いたところ、「コーヒーゼリーを」という返事がありました。そこで、女性ご利用者と職員で心をこめて作りました。「美味しい」と涙を流して喜ばれていました。

